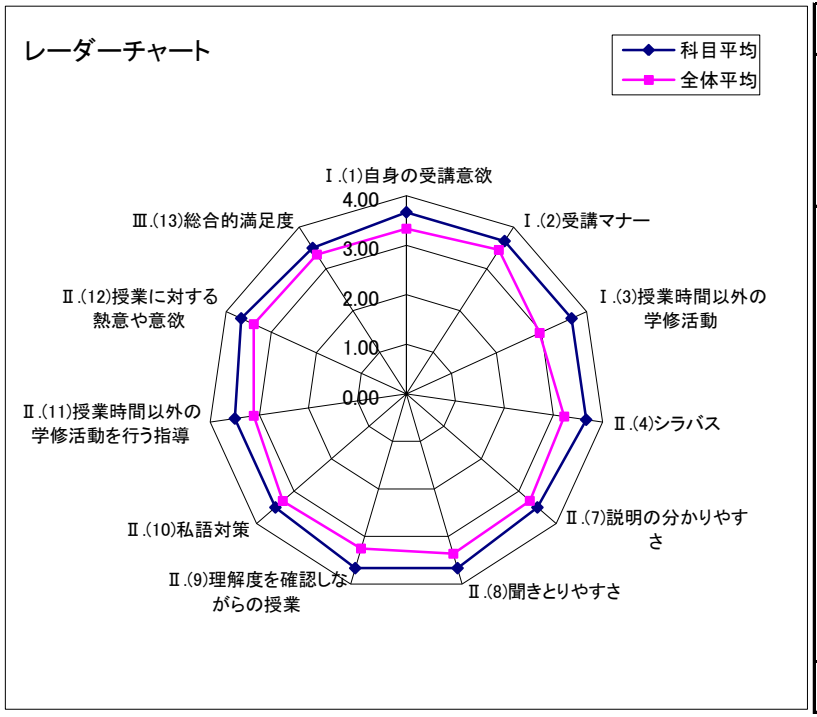
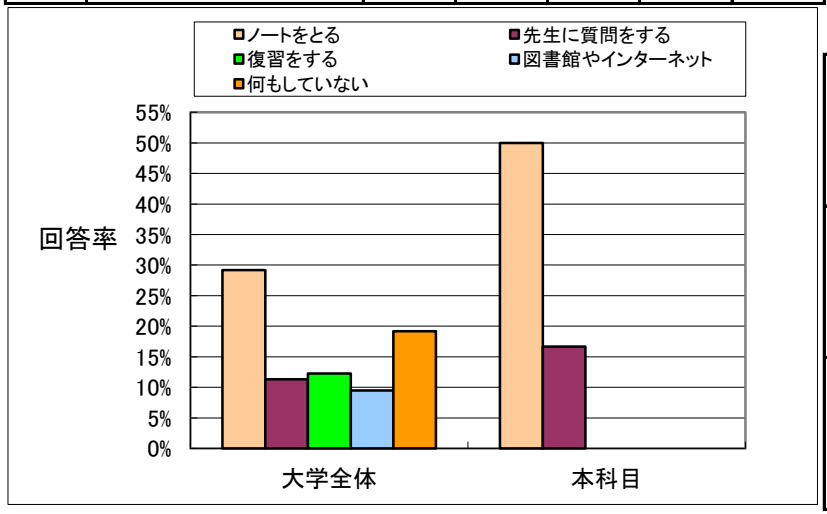
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.67	3.33
	Ⅰ.(2)	3.67	3.45
	Ⅰ.(3)	3.67	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.67	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.50	3.30
	Ⅱ.(8)	3.67	3.36
	Ⅱ.(9)	3.67	3.25
	Ⅱ.(10)	3.50	3.30
	Ⅱ.(11)	3.50	3.11
	Ⅱ.(12)	3.67	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.50	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.67	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.60	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.50	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4438
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

学生の習熟度や理解のペースに合わせた結果、授業計画＝指定教科書をすべてやりつくすという所期の目標の達成は困難であった。授業で繰り返し行った問題については、出席した多くの学生の修得を得たと思う。

②授業の進め方について

典型的な問題を例題として解法を解説し、類題を受講生たちに解かせるという順序で授業を進めた。学生による黒板での演習も盛り込めばよかったかもしれないが、少人数の授業なので机間巡回で各学生の特徴をおおかた確かめることができるのでその必要はなかった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

再履修の受講生たちは、授業時間外の学修活動について高い自己評価をしているが、本当にそうか今一度考えなおしてもらいたい。この授業で行っている内容の多くは、これからあらゆる局面で必要となる知識を習得するための前提となるものであるから、そのことを肝に銘じて、もう一度徹底してやり直すという気持ちをもって臨んでほしい。一般論であるが、単位修得が究極の目標ではなく、単位修得を通じて得られる、知識、考え方、その他の技法こそが獲得目標なのだから。学生の意識を高める工夫をしながら、授業の計画、内容、方法を再点検し、受講生の学修の実感が得られる授業にしたい。

奈良産業大学